



憧れのウエディングのお仕事に就きました！



銀座本校 池永陽子さん (27歳)

もともとお花の制作のお仕事に就きたいと思っていた池永さん。
スクール探しをしていた時、お花の雑誌で江口美貴先生の作品に惹かれ、通うならこのスクールだと入校。
初心者だったので、まずはNFD資格を3級から取得。
NFD1級取得後、華やかなウエディングのお花をやってみたい！とウエディングプロデュースコースへ。

基礎をしっかりと学んでいたため、ウエディングプロデュースコースでは、桂ショーやイベントの実習に参加したり、ワンランク上のウエディングの花をしっかりと習得。

修了後は、スクールの紹介でホテルのウエディング装花を担当する会社へ。

現在、平日は事務の仕事をしなが、週末は大好きなウエディング装花のお仕事をしています。

「将来的には、ウエディングの仕事1本で活躍したいですね。花嫁の希望を聞きながらオーダーメイドのウエディングをプロデュースすることが夢です。」



大阪本校 中井佐知さん (24歳)

大学の在学中にフラワーアレンジメントを習おうとスクール探しを始めた中井さん。
実は、1回生のときに見た、大学のスクールレポートに掲載されていた大学の卒業生でヴルーメンスタッフとして活躍する先輩の記事がとても気になっていて、入学するならミキにと、スクールの門をたたいたそうです。
22歳のときプライマリーコースに入学。その後、ウエディングの花が学びたいとNFD3級取得後、「ウエディングプロデュースコース」へ。

大学を卒業後、登録制度を利用して、ヴルーメンのウエディングプランナーとしての日々が始まりました。
現在、神戸メリケンパークオリエンタルホテルの常勤として、勉強の毎日だそうです。

「花を作るだけではなく、お客様とのカウンセリングも大切な仕事。お客様のご希望をお伺いし、最高の1日を作り上げるためにご提案をするのですが、ご満足いただける内容かどうか不安になったりもします。」と語ります。

「花のデザインもまだまだだと思えますので先輩の皆さんのように感動できるようなブーケを早くつくれるようになりたい」と目標もしっかり持っています。
実は現在もNFD1級のレッスン中で、今度試験を控えていて、猛練習中の中井さん。
江口先生の提案される花はとても大好きなので、もっともっと近づけるようにがんばりたいと夢を語ってくれました。

「婚礼の朝、花嫁のもとへブーケをお届けしたとき、わあ、きれい。ありがとう！！ととても喜んでいただけるのがうれしくて。」
なんていい仕事なんだろうとやりがいを感じる一瞬だとか。